

## 南奥駈道(山在峠く備崎)間の道標設置

◇ 実施日：平成26年4月16日(水)晴・4月23日(水)晴  
 ◇ 参加者：16日沖崎・児嶋。23日沖崎・川島。延4名。

3月23日の玉置辻く備崎間の安全点検巡視の際、この間の道標・標識は、朽ちたり紛失している箇所が多く、とりわけ山在峠以南での道標紛失や方向違いが散見された事から、この間の道標設置作業を2回に分けて実施した。(4/23は13:10~15:40に設置)  
 道標の杭・標識案内板の作製は、玉岡さんから沖崎さんに引継がれ、一手に作製して下さっている。

4月16日は、山在峠と吹越峠に限定して道標が設置された。設置後、沖崎さんは吹越宿から備崎手前林道まで、標識設置箇所の方角を確認のため踏破され、今回の標識設置に活かされた。

4月23日は、敷屋大橋を経て山在峠へ。山在峠と吹越山の間には道標設置し、吹越山(325m)をGPSで確定し山頂にケルンを積んだ。吹越宿へ車回送した沖崎さんと合流し、吹越山を下った地点で間違いやすい分岐と吹越山を案内確認して貰う。分岐の立派な道標は、標柱が朽ちて下に置かれており、釘と針金で標柱に固定する。しばらく持つだろう。七越峰に廻り、ささゆり展望台下に駐車。ささゆり展望台奥の無線電波塔のピークを下ると捲道分岐で、展望台を通る様に道標を設置する。吹越峠には標識がなく、GPSで吹越峠を確定し標柱にマジックで吹越峠と記載。峠の約50m南に吹越中継反射板がある。七越峰の石楠花が満開で、山頂の紅葉若葉がすごく赤く本当にきれいであった。(川島:記)

道設標置数、16日：6箇所8枚。4月23日：5箇所5枚。



山在峠の道標(4/16)



山在峠・吹越山中間(4/23)



吹越山(325m)(4/23)



吹越山下の標柱に釘止め(4/23)



吹越山(4/16)



標柱に吹越峠記載(4/23)捲道分岐に展望台側へ 七越峰の林道横(4/23)

